

フレキシブルメタルホース 取扱い説明書

1 説明書は、「フレキシブルメタルホース」の運搬、据付及び保守等に関する一般的注意事項を示すものとします。

■お守りいただく内容を絵記号で、区分して説明しています。

- | | |
|--|----------------------------------------------------------------|
| | 警告 人が死亡または重症を負う可能性が、想定される内容です。 |
| | 警告 人が障害を負う又は物的損害の発生が、想定される内容です。しかし、状況によっては、重大な結果に結びつく可能性があります。 |
| | この記号は、してはいけない「禁止」内容を告げるものです。 |
| | この記号は、必ず実行していただく「強制」内容を告げるものです。 |

2 フレキシブルメタルホースの主要部分は、薄肉のステンレス製のチューブと、それを包むステンレス製のブレードで構成されています。これらが損傷、腐食すると、フレキシブルメタルホースの耐圧力が低下することになります。従って、据付中に起き易く、かつ、フレキシブルメタルホースの品質を低下される恐れがある下記事項等の防止について、十分な注意を払わなければなりません。

- 1) 衝撃、落下
- 2) 過度(設計計画値以上)のたわみ
- 3) 付近における溶接、切断等の作業
- 4) 海塩、砂、鉄粉の侵入

3 運搬 運搬時に際しては、次の事項を守って下さい。

- 1) 出来る限り、水平の状態にて運搬する。
- 2) 引き摺り、落下、激突をさける。
- 3) 吊り下げる時、吊りワイヤーが本体に直接、接触しないように、布ベルトを用いる。

4 保管 保管は、次に示す条件で行って下さい。

- 1) 通風が良好な場所で、棚、又は平板の上。
- 2) やむをえず、箱より出したものは、ポリエチレンシートにて全体を包む。
- 3) 付近で、溶接、ガウジング、ガス切断等の損傷の恐れがある作業を行わない場所。
- 4) 銅及び銅合金製の製品と接しない場所。

5 据付 据付に関しては、次の点を注意して下さい。

- 1) 銘板又は荷札にて表示した機器番号やサイズで、取付場所を確認する。
- 2) 納入仕様図による、取合形状や寸法との照合をする。
- 3) 設計値以上のたわみ、変位、伸縮させて取り付けることや、ねじりを生じさせて取り付けることの無い様にする。

6 据付後 設置済みのフレキシブルメタルホースが損傷、劣化しない様に、下記を実施して下さい。

- 1) 防水布等で覆い、鉄粉、砂、ホコリ、水等の付着を防ぐ。
- 2) 下記事項を禁止する注意札をかける。
 - A. 付近、上方での溶接、溶断。
 - B. 重量物を上に置くこと。
 - C. 衝撃を与える作業。
- 3) やむをえず上方における溶接、溶断の場合は、必ず不燃性の布等で覆ってからにする。

7 配管システムの耐圧試験の検査

- 試験中及び試験直後に、次の異状がないかを点検して下さい。
 - 1) ブレードのしわ等の異状変形
 - 2) 漏洩
 - 3) その他の異状

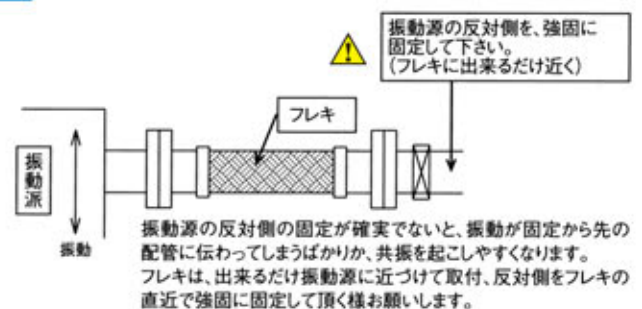
8 配管システムの試運転中の点検

- 試運転中は、次の項目について、使用上、支障が無いかを評価して下さい。
 - 1) 振動
 - 2) 変位量
 - 3) 発錆
 - 4) 異状変形

9 使用期間中の定期検査

- 使用期間中の定期検査については、次の事項の点検を行って下さい。
 - 検査の頻度は、運転中の外部環境あるいは、内部流体の条件を考慮して定め、又、必要に応じ清掃、事前の新替を行い、破損事故を防止する様にして下さい。
 - 1) 外面の発錆、腐食状態
 - 2) 内面の腐食状態(フレキを取り外して確認のこと。)
 - 3) 外傷、異状変形
 - 4) 漏洩の痕跡

10 振動吸収用に使用するフレキについて



11 受水槽等に使用するフレキについて

- バルブ開閉時に、ウォーターハンマーやバイブレーションを生じ、破損する恐れがありますので、チャッキバルブとの併用を、推奨します。

12 主弁配管に使用するフレキについて

- フレキを、主弁配管の1次側に使用されますと、給水圧力の変動等より、破損する恐れがありますので、フレキは主弁配管の2次側に使用して下さい。